

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【公表番号】特表 2015-508189 (P2015-508189A)
 【公表日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-017
 【出願番号】特願 2014-558983 (P2014-558983)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/15 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/15

G 0 2 F 1/15 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 25 日 (2016.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のエレクトロクロミックゾーンと、

第 2 のエレクトロクロミックゾーンと、

第 3 のエレクトロクロミックゾーンと、

前記第 1 および前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンに隣接して接続される第 1 の共通バスバーであって前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンには接続されない第 1 の共通バスバーと、

前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンに隣接して接続される第 2 の共通バスバーであって前記第 1 のエレクトロクロミックゾーンには接続されない第 2 の共通バスバーと、を備え、

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンは独立に制御可能であることを特徴とするエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 2】

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンのうちの少なくとも 2 つは同じ表面積を有することを特徴とする請求項 1 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 3】

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンのうちの少なくとも 2 つは異なる表面積を有することを特徴とする請求項 1 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 4】

前記第 1 のエレクトロクロミックゾーンに隣接して接続される第 1 のバスバーであって前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンにも前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンにも電氣的に接続されない第 1 のバスバーと、

前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンに隣接して接続される第 2 のバスバーであって前記第 1 のエレクトロクロミックゾーンにも前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンにも電氣的に接続されない第 2 のバスバーと、をさらに備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 5】

前記第 1 のエレクトロクロミックゾーンは、前記第 1 のバスバーと前記第 1 の共通バスバーとの間に設けられた唯一のエレクトロクロミックゾーンであり、

前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンは、前記第 1 の共通バスバーと前記第 2 の共通バスバーとの間に設けられた唯一のエレクトロクロミックゾーンであり、

前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンは、前記第 2 の共通バスバーと前記第 2 のバスバーとの間に設けられた唯一のエレクトロクロミックゾーンであることを特徴とする請求項 4 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 6】

前記第 1 の共通バスバーは前記第 1 および前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンにのみ接続され、前記第 2 の共通バスバーは前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンにのみ接続されることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 7】

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンは単一基板上の共面構成を有することを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 8】

前記第 1 のバスバー、前記第 2 のバスバー、前記第 1 の共通バスバーおよび前記第 2 の共通バスバーは、実質的に互いに平行である請求項 4 から 6 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 9】

前記第 1 の共通バスバーおよび前記第 2 の共通バスバーは実質的に前記第 2 のエレクトロクロミックゾーンの長さにならって設けられることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 10】

前記単一基板は、ガラス、プラスチック、および同じまたは異なる材料のうちの 2 つの材料の積層体、からなる群から選択されることを特徴とする請求項 7 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 11】

前記単一基板は窓ガラスまたは窓アセンブリの一部であることを特徴とする請求項 10 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 12】

前記単一基板は断熱ガラスユニットの一部であることを特徴とする請求項 10 に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 13】

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンのそれぞれは、エレクトロクロミック層または対向電極層のうち的一方を含む第 1 の電極層と、前記エレクトロクロミック層または前記対向電極層のうちの他方を含む第 2 の電極層と

、前記第 1 の電極と前記第 2 の電極との間でイオンを伝導するためのイオン伝導体層と、第 1 の導電層と、

第 2 の導電層と、を備え、

前記第 1 の電極、前記第 2 の電極および前記イオン伝導体層は前記第 1 の導電層と前記第 2 の導電層との間に挟まれることを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 14】

前記第 1、前記第 2 および前記第 3 のエレクトロクロミックゾーンならびに前記第 1 および前記第 2 の共通バスバーは、積層体の一部である単一基板に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載のエレクトロクロミックデバイス。

【請求項 15】

前記第 1 の共通バスバーは前記第 1 の導電層および前記第 2 の導電層のうち的一方に接続され、

前記第 2 の共通バスバーは前記第 1 の導電層および前記第 2 の導電層のうちの他方に接続されることを特徴とする請求項 13 に記載のエレクトロクロミックデバイス。